



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第45号

R4.1.21

文責 中西 勉



### 体の健康は「歯の健康」から

3学期の身体測定の後、養護教諭の内田先生が、各学級で「歯の健康」について指導をしています。小学生の年齢は、乳歯から永久歯に生え変わるとても大事な時期であり、このタイミングでしっかりと歯の大切さについて理解し、歯磨きの習慣や適切な歯の磨き方を身に付けておくことが重要です。現在、学校では、新型コロナウイルス感染予防を優先しているため、給食後の歯磨きを行っていませんが、各家庭で、食後や就寝前にお子さんの歯磨きを丁寧に行ってくださいと幸いです。



▲歯の健康指導（3年2組）

かつて、「歯の健康」について、こんなエピソードを聞いたことがあります。2021年のプロ野球で日本一に輝いた「東京ヤクルトスワローズ」（以後ヤクルト）ですが、ヤクルトは1950年の球団創設以降、20年以上に渡って、ほとんどセ・リーグのBクラス（4位以下）に甘んじていました。しかし、1976年の途中に広岡達朗監督が就任すると、翌1977年にはセ・リーグで球団史上初の2位になり、さらに翌1978年には、セ・リーグ優勝を果たしたのみならず、日本シリーズも制して、球団創設29年目で初の日本一の栄冠を手に入れました。この劇的なヤクルトの成長の背景には、広岡監督の徹底した選手の健康管理があったそうです。特に、広岡監督は、選手の食生活を厳しく管理すると共に、“体の健康は「歯の健康」から”ということで、虫歯がある選手には、すぐに歯医者に行って治療するように命じたと言います。こうした選手の健康管理が功を奏し、選手はシーズンを通じて自身の持てる力を十分に発揮することができるようになり、ヤクルトは強い球団の仲間入りを果たしました。



“体の健康は「歯の健康」から”、このことを男川っ子にも意識させていきたいと思えます。歯は一生の宝物です。「虫歯＝0」に向けて、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。



### 学びを止めないオンライン授業

昨夜、岡崎保健所からの要請を受け、一部の児童が本日の登校を控えることとなりました。本校では、こうした事態を想定し、3学期の初めから、毎日タブレットを家庭に持ち帰る対応を行ってきました。また、本日、愛知県に「まん延防止等重点措置」（2月13日まで）が発出され、さらなる感染の拡大が心配されます。子供たちの学びを止めないために、これからもオンライン授業を有効に活用してまいります。ご家庭での機器の接続等、お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲オンライン授業（2年3組）